

Chasing a Dream

探究推進部通信

第16号

令和6年2月6日

文責 赤松朋美

誠創自
実造主

明日は「探究人インタビュー」

より良い社会を目指して活躍しているおとな。探究し、挑戦し続けるキラキラしているおとな。そんな方々をお呼びし、みなさんの目指す大人像や学習観が変わることを期待して、探究人インタビューを実施します。

☆明日の探究人インタビューまでに準備しておくこと☆

①ワークシートの【事前】の部分を記入しておいてください。

探究人を選んだ理由。探究人についてインターネットなどでの事前調査。探究人に対する質問。

②記入が終ったら、ワークシートを「探究ファイル」に綴じておいてください。

③ふりかえりは Googlefoam(年次 classroom に配信)で行います。Chromebook を忘れずに。

☆明日の放課後は“ざわざわ雑談会”☆

探究人インタビュー実施後の放課後(15:40~16:10)に、探究人の方々とさらに近い距離で質問したり、話ができるような場を設けます。会場は2階視聴覚室です。参加希望者は本日中に担任の先生に申し出てください。(当日、飛び入り参加も可能です。)

☆当日の動き☆

2年次	1年次
1~4校時 5分短縮授業 ※4校時終了12:20	
12:55~13:05 新体へ移動(椅子・探究ノート・筆記用具)	13:00 予鈴
13:05~13:55 探究人インタビュー	13:05~13:50 5校時授業(45分)
13:55~14:05 教室へ移動 ※B階段使用	14:00~14:10 新体へ移動(椅子・探究ノート・筆記用具)
14:10~14:55 6校時授業(45分)	14:10~15:00 探究人インタビュー
15:05~15:15 ふりかえり入力	15:10~15:15 ふりかえり入力

15:50~16:10 ざわざわ雑談会(2階視聴覚室)

☆当日の心構え☆

①探究人の方々はこのために時間をつくり、ボランティアで来てくれます。

元気なあいさつ／身だしなみ／返事やうなずき／積極的な働きかけ(質問)をお願いします。

②貴重な機会を生かすためにも、みなさんの心構えが必要です。自主的に、意欲的に取り組みましょう。



☆探究人インタビュー発表会にむけて☆

①探究人インタビューワークシート【事後】のところを完成させてください。

②探究人インタビュー発表会は2年次2/28、1年次3/11(予定)に実施します。(ひとり2分程度発表予定)

今後の予定

2月14日(水) 5・6校時	2年 ポスターセッション(体育館)
2月28日(水) 5・6校時	1年 ポスターセッション(体育館)
2月28日(水) 6校時	2年 探究ふりかえり
3月11日(月) 6校時(予定)	1年 探究ふりかえり

「探究ポスターセッション HR」(1/31)

先週の「探究」の時間は、各 HR 教室でポスターセッションを行いました。

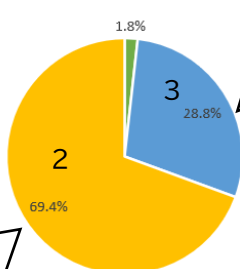
見学した先生からは、「とても立派に発表しているね。」「原稿を見ないで発表していて、素晴らしいね。」などの声が聞かれ、みなさんの成長に驚いている様子でした。体育館での発表まで、しばらく時間があります。今回の発表で寄せられたアドバイスや改善点を真摯(しんし)に受け止め、より良い発表を目指してほしいと思います。体育館での発表が最高のものとなるよう、最後のひと頑張りを期待しています。

1 相互評価より

注)ルーブリックを示している1年生のみの集計

「情報の整理・取得」「ポスター作成・発表」「ふり返り・深い学び」の3項目とも評価「2」が多く、形式的にはできているが、より深い学びには至っていないようです。体育館発表までに不足している情報や発表の仕方を補い、新たな課題設定ができるまで最後までがんばって欲しいと思います。

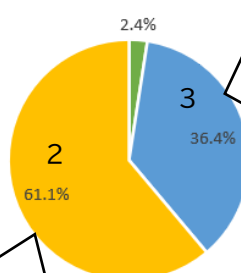
情報の整理・取得



複数のツールから多角的に得た情報を整理、統合した。

情報の発信元の信頼性に配慮しながら、複数のツールから多角的に得た情報を整理、統合した。

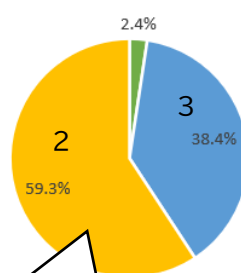
ポスター作成・発表



複数の資料、情報から必要な内容を精査、要約し、他者に伝えるための丁寧なポスターを完成させた。

情報に対して自ら批判的に考察し、整理した上で、自分の考えを適切に表現した。

ふり返り・深い学び



ポスター発表の活動から、新たな疑問点を発見するなど、新たな視点を得た。

ポスター発表の活動から、新たな疑問や課題を見つけ、さらに深く調べる計画がある。

2 自己評価より

1・2年次とも、ほとんどの項目で評価「3」となっています。評価が低い項目の中には、すぐに改善できるものがあります。「もじもじせず相手を見て堂々と話すことができたか。」「原稿の棒読みにならず、抑揚をつけて話すことができたか。」体育館発表の時までに、努力すれば必ず改善することができます。

自己評価の問い	1年次			2年次		
	3	2	1	3	2	1
問いを初めに示し、問いに取り組む動機を説明できたか	63.1%	32.6%	4.3%	63.2%	34.0%	2.8%
知らない人でもわかるように前提や用語の説明ができたか	49.1%	44.0%	6.8%	56.1%	38.7%	5.2%
全体像を示してから詳しい内容へと説明できたか	42.1%	51.5%	6.4%	51.9%	44.3%	3.8%
話の内容がきちんと論理的につながり、納得できる主張となっていたか	43.6%	47.9%	8.5%	51.2%	44.1%	4.7%
引用・参考文献の記載があったか	79.6%	17.9%	2.6%	79.2%	15.6%	5.2%
もじもじせず相手を見て堂々と話すことができたか	38.7%	46.9%	14.4%	43.2%	47.4%	9.4%
大きな声ではっきりと話すことができていたか	53.4%	41.5%	5.1%	52.4%	42.5%	5.2%
早口にならず、落ち着いてゆっくりと話すことができていた	49.6%	44.4%	6.0%	57.5%	36.3%	6.1%
原稿の棒読みにならず、抑揚をつけて話すことができていた	38.7%	46.9%	18.4%	35.7%	53.5%	10.8%

